



Microsoft Power Apps

今すぐ使えるサンプル アプリ ガイド

俊敏性と生産性が求められるニューノーマル

ビジネスを取り巻く環境や社会は目まぐるしく変化し、将来はますます不確実になっています。こうした時代にあって企業が持続的に成長し、グローバル市場で競争優位を獲得するために求められるのは「**俊敏性**」と「**生産性**」です。

俊敏性とは、変化に素早く適応しビジネスを変革し続ける力です。生産性とは、より少ない労力で大きな成果を出す力です。

すなわち現在の企業には、変化する顧客ニーズをいち早く察知し、最小限の労力と時間で新しいサービスを立ち上げる力が求められています。

そうした中で急がれるのが、業務プロセスの効率化につながるアプリケーション戦略の変革です。ビジネス現場の要求に応えるアプリを素早く準備する必要があり、需要に追いつかない、ニーズに合わないアプリが採用されるなどの課題解決には次の2点が重要です。

ポイント① ローコード開発による内製化

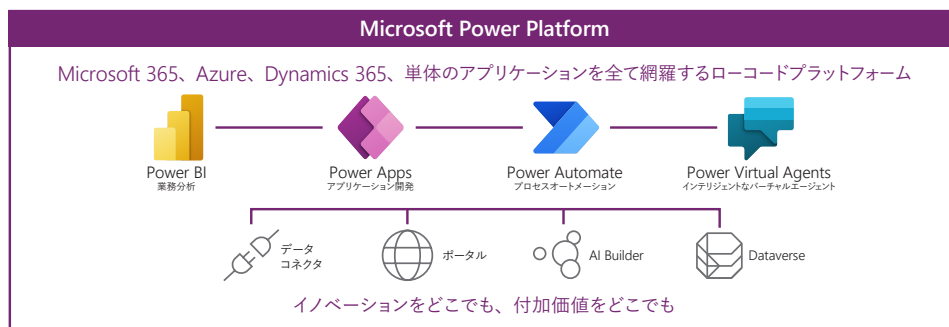
ポイント② テンプレート活用による開発時間の短縮化

これらを実現するのが、Microsoft Power Apps です。

Power Apps とは

マイクロソフトでは、データを活用しビジネスを加速する業務アプリケーション プラットフォームとして

Microsoft Power Platform を提供しています。**Power BI、Power Apps、Power Automate、Power Virtual Agents の4製品が含まれ、データの収集から解析・予測までローコーディングで実現します。**



この Power Platform の一つである Power Apps は、さまざまなデータソースと連携し、ローコーディングでビジネスアプリ開発を支援します。PowerPoint のような直感的な操作のもと、Excel の関数を扱えるスキルがあれば、情報システム部門や外部のベンダーに頼ることなく目的のアプリを開発できます。

Power Apps の特長

ポイント① 専門的な知識がなくても、現場で簡単にアプリを開発できる

ポイント② さまざまなデータと連携し、高度な AI もクリックベースで実装可能

ポイント③ 無料テンプレートが豊富に用意されており、開発時間を短縮できる

Power Apps は、顧客と常にコンタクトしているビジネスの現場で必要とされるアプリを迅速に開発する「俊敏性」と、テンプレートや AI を活用することで必要最小限の工数でアプリを開発する「生産性」を兼ね備えています。

Power Apps を始めるための 2 つの方法

組織での Power Apps のご利用については、**2 つの方法が用意されています。**

- ① **Power Apps for Microsoft 365 版**：Microsoft 365 に含まれるライセンスで始める（追加費用なし）
- ② **Power Apps スタンドアロン ライセンス版**：Power Apps のスタンドアロン ライセンスを購入して始める

まずは **Power Apps for Microsoft 365 版から利用を開始し、あとから Power Apps スタンドアロン ライセンス版に変更することもできます。**また、**Power Apps スタンドアロン ライセンス版について一定期間の無料トライアルから始めることも可能です。**加えて個人の開発環境としては、無料の開発者向けプランが用意されています。

Power Apps 開発者向けプラン <https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/developerplan/>

Power Apps for Microsoft 365 版と Power Apps スタンドアロン ライセンス版の違い

すでに Microsoft 365 をお使いであれば、追加費用なしで Power Apps の一部機能をご利用いただけます。さらに Power Apps スタンドアロン ライセンス版を購入していただくことで、活用可能な機能の幅が大きく広がります。

Power Apps for Microsoft 365 版でできること

Microsoft 365 を柔軟に拡張し、身近な業務をデジタル化して生産性を向上することができます。

- キャンバス アプリの作成（モデル駆動アプリは対象外）
- 標準コネクタでのデータ接続（プレミアム コネクタ、カスタムコネクタは不可）
- Dataverse for Teams を用いた Microsoft Teams 内でのアプリ作成・展開
- 1 日あたり 2,000 回までのリクエストを実行可能

Power Apps スタンドアロン ライセンス版でできること

複数のデータソースに分散するビジネスデータを統合。Power Platform 上でセキュアな業務アプリを構築できます。

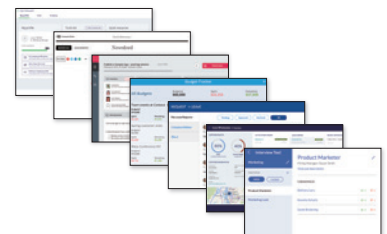
- キャンバス アプリ & モデル駆動アプリの作成
- Power Apps ポータルの利用
- 標準コネクタ & プレミアム コネクタ、カスタム コネクタでのデータ接続
- オンプレミス データ ゲートウェイの利用
- Microsoft Dataverse の利用
- AI Builder による AI モデルの組み込みが可能

※上記の各機能について、プランによって Power Apps の利用範囲は異なりますので詳細は公式 HP をご確認ください。
<https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/pricing/>

テンプレートを活用し生産性を最大化

Power Apps には、**すぐ使えるサンプル アプリが豊富に揃っています。**これをテンプレートとしてご利用いただくことで、**必要なアプリを短時間で構築できます。**

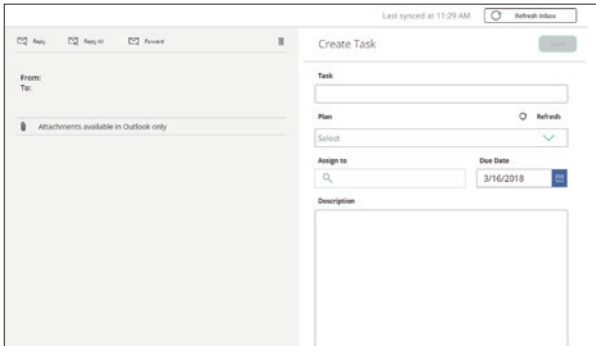
- 一般的な業務から特定の業種や職種向けまで多彩なサンプル アプリを提供
- 必要なアプリを一から作ることなくカスタマイズで構築可能
- マイクロソフトが自社向けに作成したアプリも公開



※Power Apps for Microsoft 365 版と Power Apps スタンドアロン ライセンス版では使えるサンプルアプリが異なりますのでご注意ください。

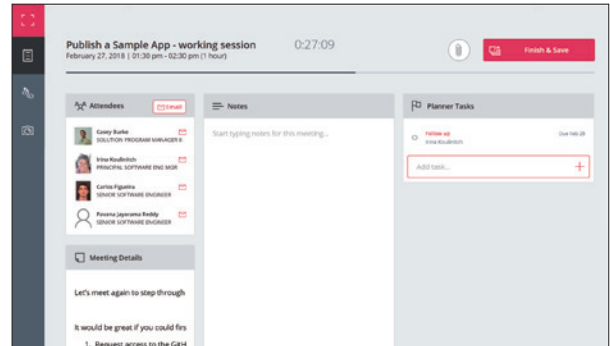
今すぐ使える サンプル アプリ

業務生産性 (QuickTask)



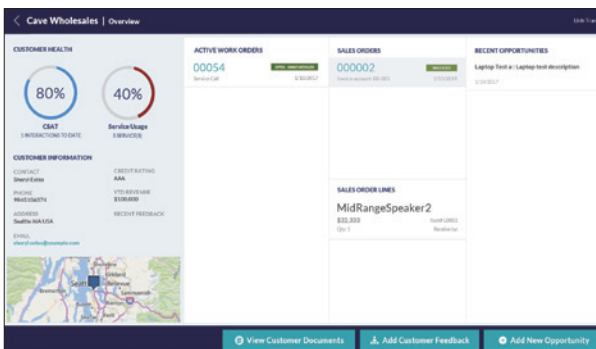
Outlook に届いたメールをすばやく Planner のプランに振り分け、配布リストに基づいたタスクを割り当てます。サービス デスクや VIP 顧客専用の受信トレイに最適です。

業務生産性 (Meeting Capture)



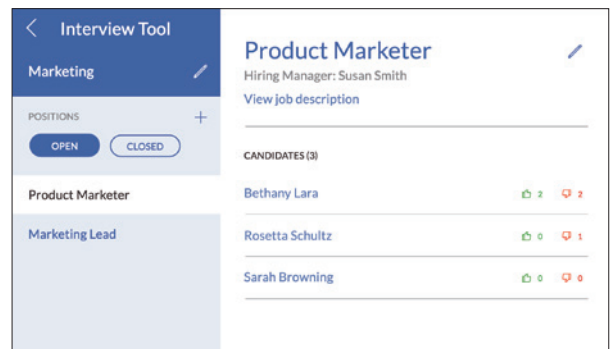
オンライン会議をキャプチャするオールインワンのツールです。映像はもとよりホワイトボードのメモまで会議の詳細を記録・表示することができます。記録データを会議の参加者全員にワンクリックで送信するほか、タスクを割り当てて実行することも可能です。

営業・マーケティング (Customer Success)



顧客リストを表示し、顧客との関係の良し悪し (健全性)、実行中の作業指示、受注した商品の一覧など詳細情報を確認できます。顧客ごとに過去の取引や商談の進捗状況を詳細に把握できるため、どんな質問にも迅速にお答えすることができます。

人事 (Interview Tool)



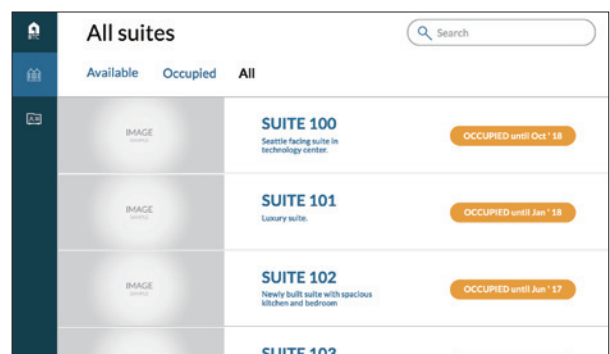
各部門の空きポジションの表示、ポジション別の候補者情報の表示や追加、面接結果の入力といった機能を備えています。アプリから各候補者の採用 / 不採用の提案を行うことも可能です。

オペレーション (Budget Tracker)



プロジェクトやイベントが予算内に収まっているかどうかを監視します。カテゴリのカスタマイズやデータ入力の簡素化をサポートするとともに、任意の情報をグラフで可視化することが可能です。

不動産・施設 (Property Management)

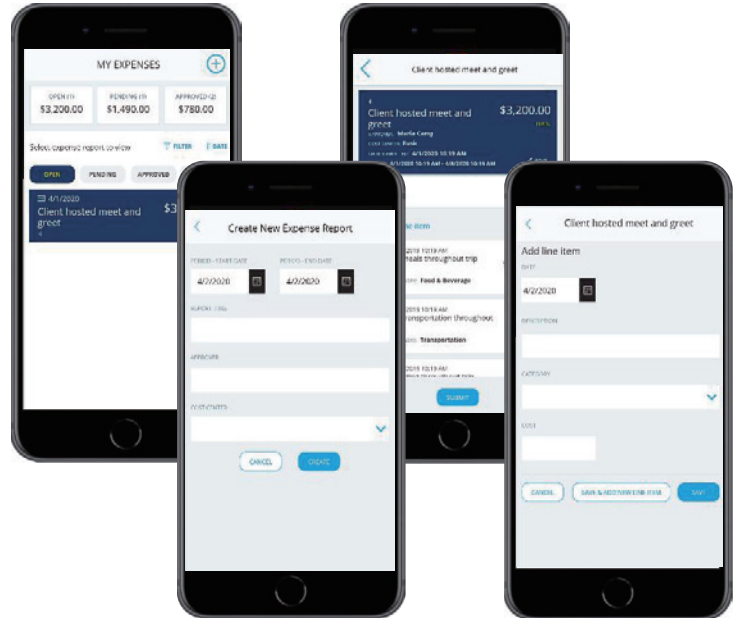


財産管理マネージャーが空き施設および使用中の施設のステータスを確認し、空き施設を新しいテナント用に予約受付を開始することができます。

今すぐ使える サンプル アプリ

経費報告 (My Expenses)

経費明細書に関する提出から承認まで業務フローを追跡します。個々の費用が発生した際に、品目を集計し、スマートフォンアプリから経費申請することで、管理者へ承認依頼が送信されます。このサンプル アプリをそのまま使用することも、変更を加えることも可能。さらに学習用としても利用できます。

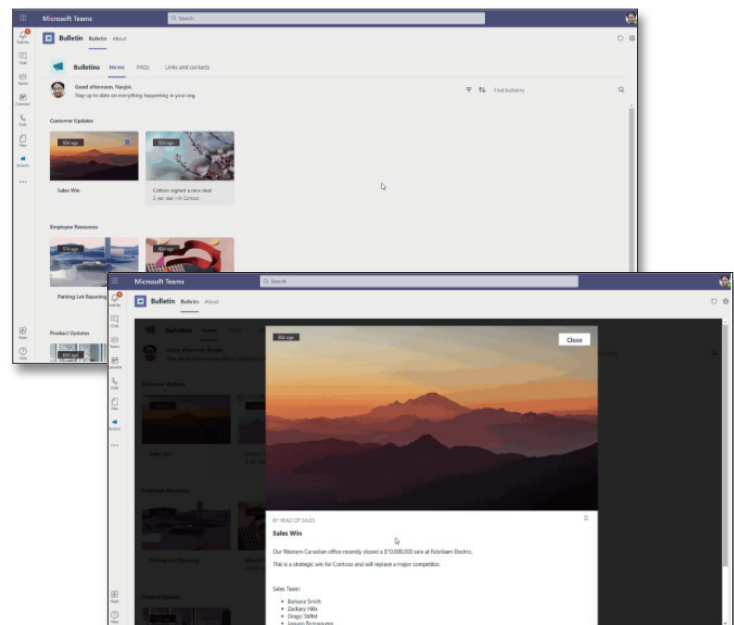


ここがポイント!

- スマートフォンから素早く経費を申請
- 個々のレポートの詳細を簡単に確認
- 新しいレポート用にデータ項目をカスタマイズ可能
- ナビゲーションがシンプルでレポートの編集が容易

従業員のアイデア (Dataverse for Teams)

Teams 上に従業員の多様なアイデアを集計するためのカスタム アプリ、ボット、フローを実装することができます。アイデアキャンペーン (一般的なテーマに基づいてアイデアをグループ化するためのカテゴリ) を設定および構成します。従業員はアプリ上でキャンペーンのアイデアを投稿したり、気に入ったアイデアに投票することができます。



ここがポイント!

- アイデア キャンペーンを確認し、キャンペーンとアイデアのリストを管理
- キャンペーンの編集および削除
- アイデアのランキングを確認
- 優先順位の付いたアイデアに投票して共有

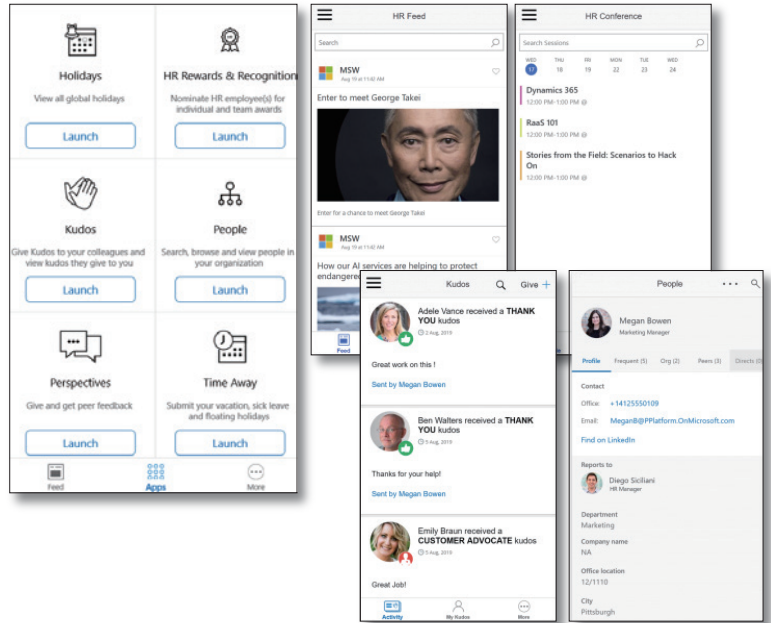
今すぐ使える サンプル アプリ

従業員エクスペリエンス スターター キット

マイクロソフトが実際に活用する HR ツールをテンプレートとして公開しています。従業員のつながり (engagement)、学習 (learning)、幸福度 (well-being)、知識発見 (knowledge discovery) のためのツールを業務現場に提供。Microsoft 365 および Teams のプロダクティビティとコラボレーション機能と統合された新たな体験により、従業員の成長を支援します。

ここがポイント!

- マイクロソフトの従業員向けに開発された HR ソリューション
- 社内ニュースの閲覧
- 従業員同士の会議を対象としたイベント管理
- 称賛メッセージの共有
- 会社の組織図を表示し探索
- 不在時間の報告



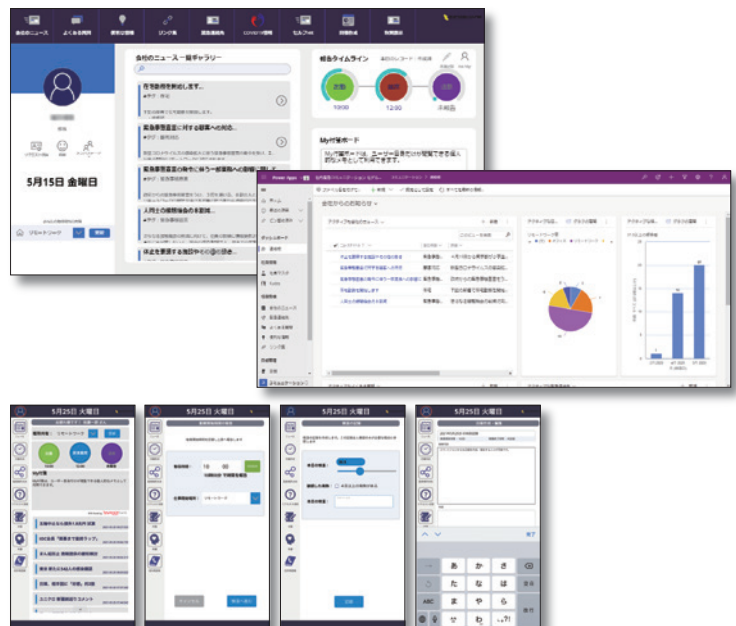
<https://powerapps.microsoft.com/en-us/blog/powerapps-employee-experience-starter-kit/>

リモート ワーク対応業務連絡アプリ

もともとは新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、オフィスでの密な業務連携が困難になった問題を解決するために作成されたサンプル アプリです。会社から従業員に対して、迅速かつ正確な情報伝達を実現します。さらに日常業務を遂行するために必要な日報機能や業務場所の共有機能なども実装しています。

ここがポイント!

- リモートワーク環境下における業務・勤怠・体調管理などを集約
- 管理者が公開した会社のニュース・よくある質問・緊急連絡先などの参照
- 勤怠管理、体調管理
- 日報の作成
- 称賛メッセージの共有
- チームメンバーとのステータス共有
- 社員情報を有効活用するセルフ HR

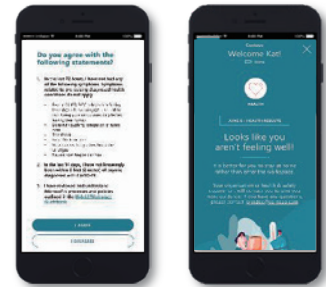


<https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/transform>

今すぐ使える サンプル アプリ

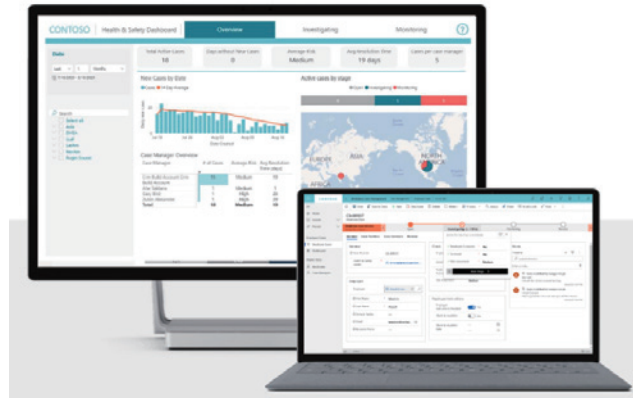
職場復帰アプリ

新型コロナウイルスに感染して業務を離れていた従業員がスムーズに職場復帰するための環境を提供します。施設管理者やタスク フォース リーダーは、復帰者が安全に働ける場所を準備します。従業員はセルフサービス ツールを使用し、自信を持って職場復帰することができます。さらに健康・安全担当リーダーが従業員の継続的なケアを行い、良好な健康状態を保証します。



ここがポイント!

- 位置情報対応ダッシュボード
- 施設の安全管理
- 職場ケア管理
- 従業員の健康・安全管理
- Workplace ポータルへの復帰



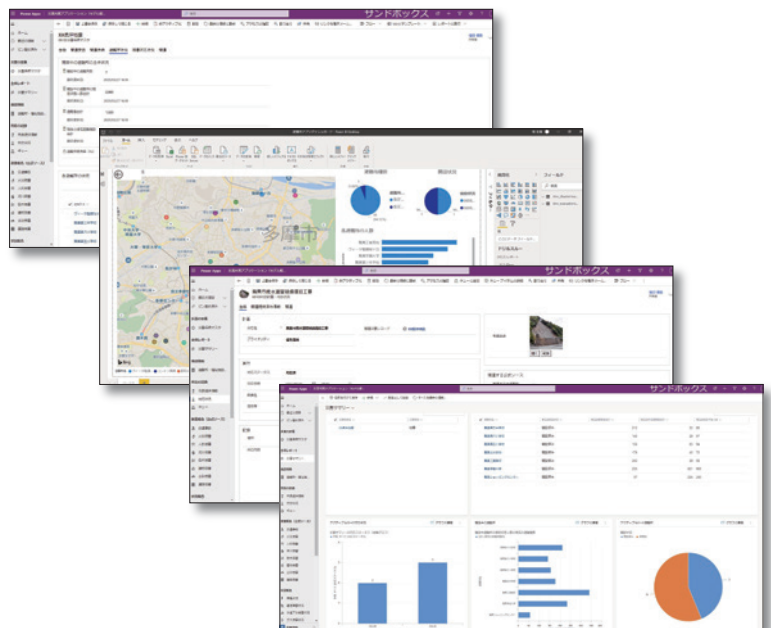
<https://powerplatform.microsoft.com/ja-jp/return-to-the-workplace/>

自治体向け 災害対応アプリケーション

災害発生時に住民および自治体の災害対策本部などの現場が必要とする情報をスムーズに提供します。短時間でリスクに備え、クロノロジー型(時系列)の情報蓄積・共有を実現します。さらに Microsoft 365 や Teams をはじめ、普段利用しているアプリケーションと連携して利用できます。

ここがポイント!

- 自治体において災害に関する情報を可視化するアプリを開発
- 災害対応に必要な情報を平時から準備して共有
- 避難所や福祉施設に関する情報、災害発生時の河川被害や倒木被害、建物被害などに関する情報を迅速に入力して共有
- 首長や現場責任者が対応を検討し、判断するための情報を一元化



<https://www.microsoft.com/ja-jp/biz/transform>

Power Apps スタンドアロン ライセンス版はセキュリティとガバナンスも充実

Dataverse で組織、ユーザーの細やかな権限設定が可能

Dataverse は、IT 担当はもとよりエンド ユーザーでも利活用できる統合データ プラットフォームです。面倒なことはすべて任せてデータ モデルに集中し、より付加価値の高い業務に時間を割くことができます。

環境毎に DLP ポリシーを設定して情報漏えいのリスクを防止

データ連携可能なコネクタを環境レベルで制限することで、意図しないビジネス データの共有や情報漏洩リスクを根本的に防ぐことができます。

Center of Excellence (CoE) スターター キットでガバナンス強化

組織のガバナンスとコントロールを維持しつつ、企業の持続的成長と従業員の育成をサポートします。

- コア コンポーネント
- ガバナンス コンポーネント
- 育成コンポーネント

用途に応じて選べるプラン — per app と per user の違い



スモール スタートに最適な per app

- アプリ単位のライセンス
- ライセンスを柔軟にスタックし、1つのアプリを実行するユーザーごとにライセンスを割り当てる



無制限のアプリ実行に最適な per user

- ユーザー単位のライセンス
- 実行する必要があるアプリの数に関わらず、ユーザーごとに1件ずつライセンスを割り当てる

Power Apps のライセンス体系

	プランと機能	Microsoft 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権	Power Apps per app ライセンスの権利	Power Apps per user ライセンスの権利
カスタム アプリ / ポータルの 実行	カスタム アプリの実行 (キャンバス アプリ)	無制限	アプリ × 2	無制限
	カスタム アプリの実行 (モデル駆動アプリ)	-		無制限
	カスタム ポータルへのアクセス	-	カスタム ポータル × 1	無制限
データへの 接続	標準コネクタ	○	○	○
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	- ※5	○	○
	オンプレミス データ ゲートウェイ	-	○	○
データの 保存と管理	Dataverse (旧称 Common Data Service) の利用	-	○	○
	Dataverse for Teams の利用 (Teams 内のアプリでのみ利用可)	一部の Microsoft 365 ライセンス ※6,7,8	○	○
	カスタム テーブルの作成とアクセス (複雑なテーブルを含む)	-	○	○
フローの 実行	Dynamics 365 の制限付きテーブルへのアクセス ※1	-	読み取り専用	読み取り専用
	自動化 / インスタント / スケジュール済みのフロー ※2	-	アプリのコンテキスト内	アプリのコンテキスト内
	ビジネス プロセス フロー	-	○	○
ライセンス あたりの キャパシティ	Power Automate の使用権	○	○	○
	Dataverse のデータベース キャパシティ ※3	-	50 MB	250 MB
	Dataverse のファイル キャパシティ ※3	-	400 MB	2 GB
AI の組み込み	1日あたりの Power Platform 要求 ※4	2,000	1,000	5,000
	AI Builder キャパシティ アドオン	-	有償	有償

※1 Dataverse 内のテーブルが制限付きになるのは、Dynamics 365 アプリケーションが特定の環境にインストールされている場合のみです。 ※2 Power Apps スタンドアロンプランに含まれる Power Automate の使用権には、デスクトップフロー機能は含まれません。デスクトップフロー機能を使用するには、有人 RPA を含む Power Automate per user プランを別途購入する必要があります。 ※3 Dataverse のデータベースおよびファイル キャパシティの権利はテナントレベルでアールされます。 ※4 サービスの上限については、<https://aka.ms/platformlimits> を参照してください。[Power Apps および Power Automate キャパシティアドオン]を購入すると、1日あたりのサービスの上限を引き上げることができます。 ※5 お客様は自身の Azure バックエンドサービスを API として公開し、それらの API を Azure API Management を通じてカスタム コネクタとして Power Platform にエクスポートできます。Dataverse for Teams を含む適切な Microsoft 365 ライセンスをお持ちのお客様は、これらのコネクタを Teams で実行されるカスタム アプリケーション、フロー、チャットボットに使用したり、オンプレミスやクラウドではなく、Azure バックエンド サービスに接続したりすることができます。詳細については、Azure API Management のページとこちらの技術ドキュメントを確認してください。 ※6 Dataverse for Teams は、データストレープと、Teams 内でのアプリ開発に対応したワークフロー リユースを提供する柔軟性に優れた組み込みのデータストアです。Dataverse for Teams の使用権を含む Microsoft 365 ライセンスの完全な一覧については、[付録 B] を参照してください。 ※7 Dataverse for Teams の各環境は、Teams の 1 つのチームに一意的に (1 対 1) のマッピングを行い、標準的な使い方で最大 1,000,000 レコードを保存することができます。Dataverse for Teams のキャパシティとサービスの上限の詳細については、こちらの公開リンクから確認してください。 ※8 Dataverse for Teams は、スタンドアロンの Power Platform のライセンスによって権利が追加されることはありませんが、プレミアム機能については対応するライセンスによってサポートされます。例: 特定の Dataverse for Teams 環境において、アプリのコンテキスト内でプレミアム コネクタにアクセスするには、アプリにアクセスするすべてのユーザーが、シナリオやニーズに応じて Power Apps の per app プランまたは per user プランのいずれかのライセンスを取得している必要があります。

※ ライセンスに関する詳細な情報は、<https://docs.microsoft.com/ja-jp/power-platform/admin/pricing-billing-skus> (ライセンス ガイド) を参照してください。

Teams から アプリを 作成する

1 Teams ストアから Power Apps アプリをインストール

2 Teams を 起動し、ログイン

3 画面左のペインで、Power Apps を選択し、「アプリの作成」をクリック

4 アプリを公開する チームを選択し「作成」をクリック

5 アプリの名称を 入力し、「保存」をクリック

Power Apps 無料トライアルを始める

PowerApps サインアップ <https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/>



Microsoft Power Platform に関する最新情報は、<https://powerplatform.microsoft.com/ja-jp/> をご覧ください。

※記載されている会社および、製品名は、各社の商標または登録商標です。※記載されている情報は、2021 年 8 月現在のものです。※製品の仕様は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。※本文書は情報提供のみを目的としており、2021 年 8 月時点でのマイクロソフトの見解を基に作成したものです。状況等の変化により、内容は変更される場合があります。マイクロソフトは、本文書の情報に対して明示的、黙示的または法的な、いかなる保証も行いません。

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

- インターネット ホームページ <https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/contact-us/>
- マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-167-400 (9:00~17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)

電話番号のおかけ間違いにご注意ください。

関連資料のダウンロードはこちら



<https://aka.ms/power-platform>